



介護政策評価支援システムの解説【簡易版】

A4判／34頁 2014年3月発行

【品切】

※購入申込フォームからお申込み頂けます。

[→ 購入申し込みフォームへ](#)

「介護政策評価支援システム」(主管・運営:厚生労働省。現「地域包括ケア『見える化』システム」)が提供する数多くの指標のなかから、わがまちの傾向を読み取る代表的指標を取り上げ、介護保険担当者として具体的な分析を行う際の視点や、事業計画や説明相手に応じた活用の仕方などを、逐一サンプルグラフを例示しながら解説。

実際の自治体による活用事例なども掲載。介護保険担当者必携。

目次

『介護政策評価支援システムの解説』簡易版について

I 介護政策評価支援システムの基礎

- 1 前提となる3つの分析視角
- 2 7つの分析段階

II 介護政策評価支援システムの用途と基本的考え方

- 1 具体的な用途
- 2 同じ指標でも、相手に応じて説明のポイントは異なる
- 3 将来的視野 ～介護保険担当者としてのバランス感覚
- 4 最終的には現実に落とし込んで考える
- 5 既存サービスに捉われない発想

III 具体的な指標の読み方

- 1 事業(計画)担当者用
 - 給付から考える
 - 認定から考える
- 2 事業説明用